



## 取組紹介

### トップリーダー 鈴木 衛 学長の発信

#### 「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同者として活動開始

内閣府が支援し女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業等の男性リーダーの会で取りまとめられた行動宣言に、昨年10月26日に鈴木学長が賛同しました。

また、鈴木学長は、10月11日に開設された東京医科大学法人ダイバーシティ推進本部の本部長に就任し、女性活躍推進、ダイバーシティの実現を進めることを学内に発信しています。

#### ■「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言について

平成26年3月28日に首相官邸で開催された「輝く女性応援会議」を契機に、輝く女性・輝こうとする女性たちを応援する各界のリーダーたちにより「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言が取りまとめられ、各々の組織で、女性の活躍を加速するとともに、「男性リーダーの会」では、行動宣言の賛同者を拡大する活動が進んでいます。

(賛同した男性リーダー 平成28年11月30日現在136名。)



## 女性教員内部昇任

本学では、上位職に占める女性教員比率の増加をめざし、学内の各分野(教室)等の定員内で、所属長の推薦により学内手続を経て女性教員を講師あるいは臨床講師以上へ昇任させることを推進しています。

第1回の取組として平成26年度に、女性教員自身に内部昇任基準を満たしているか調査するとともに、所属長に内部昇任該当予定者の調査を行い、平成27年度までに17名(教授1名、准教授2名、講師15名)の上位職女性教員を増やすことができました。

このたび、平成28年10月に第2回の調査を実施しました。引き続き、上位職に占める女性教員比率を上げていきます。



全学(医学科及び看護学科)講師以上の女性教員在籍数

## 学生に対するキャリア教育

医師・学生・研究者支援センターでは、学生に向けてセンターの活動紹介とともに男女共同参画に基づくキャリア教育を継続して実施しています(平成28年11、12月に実施された授業の紹介)。

### 4年生 (H28.11.30、12.13医学・医療と社会) 5年生 (H28.12.3 BSL統合講義)

副島賢和先生(昭和大学大学院保健医療学研究科 准教授)に「病気を抱えた子どもになぜ教育が必要なの?」というテーマでご講演いただきました。また、当センターの荻野令子コーディネーター(キャリアコンサルタント)による価値観カード「働く上で大切にしたいことを考える」を利用してグループワークを行いました。医師になるという漠然とした将来から、自分らしいキャリアビジョンを策定する良い機会になったようです。



ロールモデルとして院内・院外でキャリアを積んできた先生方の話を聞く機会を継続して設けており、今年度は、循環器内科医の塚原玲子先生(総合東京病院 副院長)と鹿島アントラーズのチームドクターである山藤崇先生(整形外科 助教)にご講演いただきました。学生からは、進路について幅広く考え直す機会になったとの感想が多くありました。また、「医師としての将来を考える」キャリアワークを荻野令子コーディネーターが行いました。



平成27年より医師・学生・研究者支援センターの講師として、医学総合研究所運動器科学研究部門において基礎研究を行いつつ、科研費などの公的資金獲得や共同研究施設運営のサポートをしています。多くの方々に基礎研究に興味を持っていただけるように、また効率よく研究を進められるようなお手伝いが出来れば幸いです。

荒谷 聡子(医師・学生・研究者支援センター / 医学総合研究所 講師)



## 活動報告



### ダイバーシティ推進本部 開設記念セミナー

「ダイバーシティの実現で組織が変わる！  
社会が変わる！」

平成29年1月11日(水)、「ダイバーシティ推進本部開設記念 東京医科大学男女共同参画促進セミナー」が開催されました。

これは、平成28年10月に本法人にダイバーシティ推進本部が開設され、全学で多様性の実現に取り組むことを周知するため行われたもので、内閣府男女共同参画局から武川恵子局長を迎え、ダイバーシティの実現に向けて、ご自身のアメリカ留学の体験も交えながら、他の病院の取り組み例などを挙げてご講演いただきました。また、これを構築するためには女性の活躍推進は

極めて重要であること、特に男性の家事・育児参加が低水準の日本では、男性の暮らし方・意識改革が必要であることなどを強調されました。

今回のセミナーは、「女性が輝く社会づくり」をめざす外務省・国際女性会議「WAW! 2016」の公式サイドイベントとして登録、実施しました。当日はいろいろな職種の方107名の参加があり、ダイバーシティ推進本部の周知も進みました。今後は、ダイバーシティ推進本部が中心となって多様な人材、多様な働き方を活かす組織作りを進めていきます。

### 研究力アップ研修

今年度は、研究力アップ研修を全9回行いました。参加者からは、具体例があり今後の研究の参考になりました、臨床医がいかに研究を続けるか、とてもモチベーションを上げる内容でした、との声が寄せられました。

研修の様子をビデオ撮影しDVDにして貸出を行っております(学内教職員限定)。ご希望の方は医師・学生・研究者支援センターにご連絡ください。

#### ⑦「採択される臨床研究をめざして

-Limitationの重要性-

平成28年11月28日(月) 17:30～18:30

講師：磯村 達也先生(医学総合研究所  
臨床研究コンサルテーション部門 兼任講師)

#### ⑧「臨床医による基礎医学研究」

平成29年1月13日(金) 17:00～18:00

講師：真村 瑞子先生(医師・学生・研究者  
支援センター/分子病理学分野 教授)

#### ⑨「臨床研究の魅力とその進め方

一病態の原因究明とウイルスの研究一

平成29年1月19日(木) 17:00～18:00

講師：柏木 保代先生(小児科学分野 准教授)



### メンター、キャリアサポーター研修

毎年開催している「メンター、キャリアサポーター研修」を今年度は平成28年12月20日に「相談場面のコミュニケーション～臨床実践の関わりから～」というテーマで開催しました。

講師の村越晶子先生(メンタルヘルス科 助教)からは、悩みを聴く側のコミュニケーションスキルや相談する側の心理について具体例を交えてお話しいただきました。医師、教員、看護師等さまざまな職種の方にご参加いただきました。



### 今後の予定

ご参加をお待ちしています！ 詳細は支援センターHPでご確認ください

#### ◆基本のおさらいシミュレーションプログラム

復職を検討中で今の医療現場についていけるか不安な医師の方、知識や手技の再確認を希望される医師の方などを対象とした講習を行います。お気軽にお申し込みください。

※ホームページから要予約

日時：平成29年2月18日(土) 9:00～12:00

場所：大学病院 教育研究棟5階 クリニカル・シミュレーション・ラボ

内容：BLS、心電図の読影について、実技シミュレーション

申込締切：平成29年2月16日(木)

#### ◆ランチョンセミナー「先輩と語ろう ～医師の働き方～」

日時：平成29年2月22日(水) 12:30～13:00

場所：大学病院 本館6階 第2会議室

講師：呉 宗憲先生(小児科学分野 助教)

#### ◆ワークライフバランス推進講演会

日時：平成29年3月14日(水) 18:00～19:00

場所：大学病院 本館6階 臨床講堂

講師：菊入 みゆき氏(株式会社JTBコミュニケーションデザイン  
ワーク・モチベーション研究所 所長)



東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター

TEL：03-3342-6111(内線2044・2047) FAX：03-3342-9351

E-MAIL：ishi-s@tokyo-med.ac.jp URL：http://www.tmu-shien.com/

